

つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟

会長 葉梨 康弘 様

つくばエクスプレスの  
東京駅延伸に向けたご支援について

つくば市

つくばみらい市

柏市

流山市

三郷市

八潮市

足立区

荒川区

守谷市



平素より、つくばエクスプレス沿線整備に際し、格段のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

つくばエクスプレスは平成17年8月に開業し、令和7年に開業20周年を迎えようとしております。新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ利用客も回復基調が継続しており、令和5年度の決算は令和4年度から2期連続で黒字を計上するなど、着実に実績を積み上げております。また、混雑緩和対策として「車両編成の8両化」に向けたホーム延伸工事も進められております。

これもひとえに、つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟の有志各位の日々のご活動の賜物と重ねて御礼申し上げます。

沿線自治体といたしましては、今後も継続的に利用客の増加を確保していくには、他の鉄道路線との結節や相互乗り入れなどの利便性の向上が重要であると認識しております。現在においては、利用客は順調に回復しておりますが、さらなる利便性の向上のためには、東京駅への延伸が大きな効果をもたらすものと期待をしております。

つくばエクスプレスの東京駅延伸につきましては、平成28年4月20日付けの交通政策審議会第198号答申において、「都心部・臨海地域地下鉄構想の新設及び同構想と常磐新線延伸の一体整備」として「国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクト」に位置づけられました。また、令和4年11月に東京都は「都心部・臨海地域地下

鉄構想 事業計画案」を公表し、接続について「将来の接続を見据えた検討を今後行う」としたうえで、令和6年2月には整備主体を「独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構」、営業主体を「東京臨海高速鉄道株式会社」とした三者合意を行い、事業計画の検討が加速化していると認識しております。これらの状況を踏まえ、沿線自治体といたしましては、首都圏新都市鉄道株式会社が東京都と連携し、東京駅延伸に向けた検討を深度化することを切望しております。

沿線自治体といたしましても、今後さらに、沿線の整備をはじめ、より魅力あるまちづくりを推進し、利用客の増加に寄与するため鋭意努力してまいりますので、つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟の有志各位におかれましても、東京駅延伸の早期実現に向けて、関係者への合意形成や事業化の決定等に更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月10日

つくば市長 五十嵐 立青

つくばみらい市長 小田川 浩

柏市長 太田 和美

流山市市長 井崎 義治

三郷市長 木津 雅晟

八潮市長 大山 忍

足立区長 近藤 やよい

荒川区長 西川 太一郎

守谷市長 松丸 修久